

# EIWA UNIVERSE

第23号

発行日 2021年2月25日

## 学内楓祭 開催！！

### ハイライト:

- 学内楓祭を開催しました。(1p)
- 2020年度英和エコ大作戦を実施しました。(3p)
- 2021年度学納金の納入期日・寄付金のお願い(6p)
- 体温検知器を整備しました。(8p)

### 目次:

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
研究室探訪 財務課	6
留学生センター 公開講座	7
キャリア支援課 後援会	8

2020年度の学園祭は「学内楓祭」と称して11月21日(土)に、新館・体育館を利用して行われ、スタッフを含め171人の参加がありました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催の是非について楓祭実行委員会、危機管理委員会、学生委員会等と協議を重ね、一大イベントである楓祭を全面的に中止するのではなく、何か別の形に変えてでも開催しようという学生達の意見を尊重し、一般公開をせず学内開催という方法での開催を決定しましたが、開催直前まで常に心配の日々でした。

当日は、2週間の健康チェック表が入場チケットとなり、午前中は新館ラウンジで入学以来学校に通えていない1年生に対して開催した「なんでも相談会」では、メジャー等の紹介ブースを作り、先生方や先輩と話す機会を作りました。

楓ホールでは、軽音サークル・吹奏楽団・ダンスサークルが、日頃の成果を披露してくれました。



午後は、チャレンジランキングで軽い運動。体育館にて、3人1チームによるチー



ム戦で、片足立ち・豆つまみ皿うつし・洗面器お手玉投げを行い、点数によって順位を競いました。

その後は、個人戦による〇×クイズ・ビンゴ大会が開催され、みんな景品を獲得しようとかかなりの盛り上がりでした。

中でもビンゴ大会は、最も参加者が多くコロナ感染対策のため体育館と新館ラウンジを中継しながら行う形を取りました。

3密を避けるためのコロナウイルス対策案を1から作成し、当日も感染対策に神経を使い、すべて自分たちで計画・実行したことは、楓祭実行委員や学生にとって貴重な体験になったことでしょう。

来年の楓祭は、大々的に行えることを祈っています。(学生課 佐野)



しゅ みちび

あゆ

## 主に導かれて歩む

学長 柴田 敏



柴田 敏  
(しばた さとし)  
学長

いま しゅうきょう も い み なん かみさま しんこう い み なん  
今、宗教の持つ意味とは何でしょうか。神様を信仰する意味とは、何  
でしょうか。

ぎもん も ひと おお きんだいしゃかい かがく  
そのような疑問を持っている人も、多いでしょう。近代社会は、科学と  
ぎじゅつ しんぽ ほってん じどうしゃ てつどう こうくうき  
技術の進歩によって発展してきました。自動車、鉄道、航空機、すべて  
ちみつ せいかく つく かがく ぎじゅつ しゅうせき  
緻密で正確に作られています。PCやスマホも、科学と技術の集積です。  
ぶつりがく せいめい かがく うちゅう せいめい ひみつ と あ おお  
物理学や生命科学が、宇宙や生命の秘密を解き明かしてきました。多くの  
かがくてきたつせい うえ こんにち しゃかい せいりつ かがく せんたんぎじゅつ  
科学的達成の上に、今日の社会が成立しています。それは科学と先端技術  
じつげん かみさま えいきょう み  
によって実現したもので、神様の影響は見えません。

かみさま ねが しんがた け さ  
そもそも、神様にお願ひしても、新型コロナウイルスを消し去ってくだ  
さるわけではないようだ。ならばこの先も、さまざまな科学と先端技術の  
さき かがく せんたんぎじゅつ  
発達に任せていくのがよいのでしょうか。

みな し  
ところで皆さんは、「デザイナーベビー」ということばを知っています  
か。いま いがく ほつたつ う く こ いでんし そうさ  
今では医学の発達によって、産まれて来る子どもの遺伝子を操作できるようになってしまし  
じゆせいらん いでんし そうさ あたま うんどうのうりよく たか ようし うつく  
た。受精卵の遺伝子を操作して、「頭がよい」「運動能力が高い」「容姿が美しい」といった  
この とくちょう も こ とくてい びょうき こ  
好ましい特徴を持った子どもや、特定の病気にかかりにくい子どもにするというのです。

おや ねが あたま かつぱつ こ う  
親の願ひどおりの、かわいくて頭がよくて活発な子どもが産まれてくるというのは、よいこと  
おそ こうぎょうせいひん のうさくぶつ  
のようでもあります。恐ろしくありませんか。まるで工業製品のように、あるいは農作物の  
ひんしゅがいりょう こ きたい びてん ふじゅうぶん  
品種改良のように、子どもをデザインしてよいのでしょうか。期待していた美点が不十分だとさ  
れた子どもは、どうなるのでしょうか。

かがく ぎじゅつ こた も かがくてき  
そんなことをしてよいのかどうかについて、科学や技術は答えを持っていません。科学的な  
きょうみ ついきゅう む  
興味は、できることをどこまでも追求することに向けられています。

わたし じんせい なか ほんだん せんたく さいりょう こた みちび かがく ぎじゅつ  
私たちが人生の中で判断し、選択するとき、最良の答えへと導いてくれるのは、科学や技術  
しゅうきょう  
ではなく、宗教なのです。

しゅ わたし あゆ む ほうこう しめ  
主イエス・キリストは、私たちとともに歩みながら、向かうべき方向を示してくださっています。  
しゅ おし かみ あい りんじん あい  
主の教えは、「神を愛し、隣人を愛しなさい」ということです。

かがく ぎじゅつ にんげん たいせつ つか つか わたし  
科学も技術も、人間にとって大切なものです。しかし、それをどう使うか、使わないか、私たちは  
ち え え しゅ おし ち え みちび  
その知恵を、どうやって得たらよいのか。主イエスの教えは、その知恵へと導いてくださいま  
いま ちちゅう しゅ みちび なぐさ いの  
す。今、コロナ禍中にあっても、主の導き、慰めを祈ります。



## 宗教委員会

### 2020年度クリスマス礼拝

今年はコロナ禍の状況で毎年の活動が制限されているなかですが、明るいニュースを届けることが出来ました。2020年度は、学生たちの想いによって暖かいクリスマス礼拝を捧げることが出来ました。神様の見守り中、聖歌隊合唱、聖書朗読、キャンドルサービスが厳かに行われました。礼拝後には学生たちがサンタクロースの格好で恒例のお菓子配りを行い、ささやかなクリスマスプレゼントを届けることが出来ました。

また今年は、吹奏楽と劇団による合同イベントが行われました。劇団の学生が、コロナ禍での学生生活を先輩と後輩学生で振り返るという設定のもとで、オンライン授業や普段とは異なる生活

の不安を率直に語ってくれました。そしてリトリートや楓祭、クリスマスといった学院の行事が、学生生活にとってかけがえのないものであるのかを、吹奏楽の音楽と共に語ってくれました。クリスマスの話題となると、吹奏楽による讃美歌のバックサウンドが流れ、学生たちがキリスト教の授業や讃美歌の由来について語り合うという演出でした。



学生たちにこんなにもキリスト教精神が浸透しているのを知らせて少し驚きでしたが、今年は特に学院行事が縮小、中止されたなかで寂しい思いをさせていたのかもしれない。

2020年度はコロナの状況で大変な年でしたが、学生たちの想いによって、例年通りの英和らしいクリスマス礼拝となりました。

今年はまた全長4.7メートルの大きなクリスマスツリーが本館に飾られました。せめて視覚的にもこの時期を楽しんでほしいという大学の想いを反映させた素晴らしいものでした。

クリスマスメッセージは、ルカによる福音書2章8-21節から行いました。生まれる場所さえも満足になかったイエス・キリストが世に与えられたことで、神の御支配がこの世界に広がり、私たちに自由が与えられました。神の御支配は、広がれば広がるほど、私達を自由にし、かけがえのない居場所をこの世界に広げるのです。その意味でこの学院の活動も Missio Deiの広がりであると思われたクリスマスでした。

(宗教研主任 大坪)

## ボランティアセンター

### 2020年度英和エコ大作戦を実施しました

11月28日（土）、ボランティアセンター環社チーム主催のもと「2020年度英和エコ大作戦」を実施しました。

池田山団地の方と一緒に、町内の避難場所でもある桜公園を綺麗にする企画です。

学生スタッフをはじめ、教職員や池田山団地の方々が集まり、総勢約30名で活動を開始しました。

昨年の雨天中止により、生い茂った草木が桜公園全体を覆っていましたが、草刈り機やカマにより手際よく作業が進んでいきました。袋いっぱい雑草が何度も運ばれ、予定よりも早く1時間半で作業終了。隠れていた看板やベンチもはっきりと見えるようになりました。

今年度初となる活動でしたが、消毒や検温、マスク着用の徹底など、コロナ感染予防に配慮しながら実施することができました。清掃活動とともに、学生と地域の方との世代間交流を図ることもでき、有意義な時間になったと思います。

(ボランティアセンター 倉田)



## 人間社会学科

新型コロナウイルスの感染に伴い、前期のオンライン授業では教員も学生も当初は手探り状態で大変な毎日でしたが、後期からは対面授業も始まり、少しずつ学生たちもキャンパスライフを楽しんできております。

コロナ禍の中から開催が危ぶまれた「心理実習」も、新たに3施設が加わり、学生達は夏季休暇中、実習に行き実際の現場を体験してきました。その中の「フジEAPセンター」では、大学の卒業生が心理師として後輩たちのために実習講師を務めてくれました。

また、今年も地域連携事業「しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業（魅力ある公園づくり）」（牧之原市）に、畑ゼミ（日本古典文学）が採択され、牧之原市東光寺などを取り上げ、ゼミ生が考えたキャッチコピーで、ポスター・チラシなどを制作しました。畑先生の授業時にて「第31回伊藤園おーいお茶新俳句大賞」に多くの学生が応募し、大学の学生5名が入賞・入選しました。「おーいお茶」を購入された際は、

英和の学生の俳句を見つけてみてください。金ゼミの学生達が「日商簿記3級」、「商業簿記初級」、「原価計算初級」に合格し、静岡商工会議所雑誌『SING』10月号に掲載されました。川島ゼミの学生3名が「日商リテール・マーケティング検定 3級」に合格し、雑誌『販売士』で販売士アイドルとして取り上げられました。次は「日商簿記」「日商リテール・マーケティング検定」とも2級を目指して、頑張ってくださいね。

さらに、多くの先生方が書籍等を出版されたので一部をご紹介します。川崎先生『地域産業のイノベーションと流通戦略—中小企業の経営革新と地域活性化—』千倉書房（10章担当）、洪先生『Geography of Tokyo』朝倉書店（Chapter 5担当）、Harrington先生『The Tourism English Study-Book』です。ツーリズム関係の書籍が多いですが、新型コロナウイルスの感染が早く終息し、安心してGoToトラベルに行きたいですね。人間社会学科教員および学生たちの活躍を今後もご期待ください。（人間 永山）

## コミュニティ福祉学科

限りない慈しみの中で時を支配し進めておられる主を、心から崇め、賛美致します。

学科の動きのいくつかご紹介致します。

今年度（2020年度）当初はここ数年どおり、NEST（北館5F）で学科会を致しましたが、コロナ禍により、前期の途中から遠隔会議（Zoom）としています。対面の学科会は、Zoom学科会を始めてからは後期に一度大会議室（本館）で行ったのみです。教授会も遠隔会議（当初Zoom、途中からTeams）ですので、それと足並みを揃えた形になっています。今後、コロナの状況を見ながら、先生方の安全を確保する工夫を続けます。

本年度から学科に加わっていただいた内山尚美先生と鈴木瑞先生のご担当科目として、「ミュージカルⅠ」「ミュージカルⅡ」「国際福祉」を2021年度入学生からカリキュラムに追加することを教授会で2020年12月現在検討をいただいています。乞うご期待。

学部一括入試が今年度から始まり、入学直後の1年間は学科に未所属となっています。1年次に各学科で行われてきた基礎演習Ⅰ・Ⅱにつき、人間社会学科と協議・調整しました。前期の基礎演習Ⅰは学部共通でクラス割当を行い、後期の基礎演習

Ⅱでは用意された複数のゼミから学生に選択してもらい、必要に応じてそのゼミの中でクラス分けを致しました。コミ福教員が担当したのはコミュニケーションゼミ（4クラスを教員4名で担当）です。

1年生は2年次になる際に学科を選択して所属しますが、12月現在、希望調査実施中です。1年生へ「コミ福学科では、資格取得を目指さないで、学科のカリキュラムの範囲内で福祉学の学びを自分で自由にデザインして履修することができる」こと、および「（指定科目の履修等で）福祉系の資格を目指すこともできる」こと等をお知らせしています。

保育士・幼稚園教諭一種・社会福祉士の資格取得に必須の実習（2020年8月～9月）について、実習委員会（学科教員所属）でコロナ対策を検討し、大学と相談し、コロナへの注意喚起と対策指導をして学生を送り出しました。施設との協力により、大きな問題なく完了できました。保育実習Ⅲで2ヶ所、相談援助実習で2ヶ所、幼稚園教育実習1ヶ所で、当初予定していたところでの実習ができませんでしたが、代わりの実習先を実習センター（川先生）で確保し、対応しています。スクールソーシャルワーカーの資格のための実習（6月～10月）についても特に問題ありませんでした。感謝です。（コミ福 中原）



## 現代コミュニケーション学科

今年度はコロナの話題ばかりになりそうなので、少し別の話題について書きたいと思います。現代コミュニケーション学科の高橋が当時の英和短大に赴任したのは、1984年、昭和59年のことでした。その当時、新館はもちろんなく、それどころか、西館と図書館（1986年12月完成）、体育館（1984年3月完成）もありませんでした。「図書室」は、現在のN201、202に当たる部分にあり、N101が食堂になっていました。現在の本館小会議室とN202に挟まれた部分が正面玄関になっていて、現在、小会議室横の掲示板になっているところが庶務の窓口になっていました。私が初めて英和を訪れた時に、清潔さを感じたのは、単に女子短大だったという理由からだけではなく、当時は、学生も教職員も上履きに履き替えて学内に入っていたからなのです。学生の玄関は、

現在のN202の下のところであり、その名残の入口が今もありません。教員用の下駄箱は、現在も研究棟1階の南部分に取り壊さずに残されています。現在の図書館が建っているところにはクラブハウスがあり、学生がサークル活動で使っていました。東静岡駅もまだなくて、通学は、新静岡センター（現在のセバ）か静岡駅前からのバス通が主でした。JR草薙駅からのバスがほんの少しありました。土曜・日曜は、「動物園線」のバスが平日よりも多く出たのですが、今は全く逆になりました。授業も4限までで、私が来た頃の静岡駅・新静岡行の最終バスは確か18時台はじめ頃でした。昭和、平成、令和と英和にいる私にとって、建物やバスは本当に変化したものだと感慨深いものがあります。

（現コミ 高橋）

## 食物栄養学科

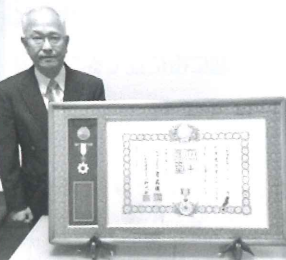
新型コロナウイルス感染症拡大のため、初めてオンライン授業に学生も教員も戸惑いが隠せなかった年度の幕開けでした。新入生にとっては、期待に胸を弾ませ入学したはずが、登校できない期間、クラスメイトと交流することもなく一人で授業を受け黙々と課題をこなす日々、学生生活を満喫するには程遠いと感じた学生も多かったことでしょう。皆さんにとって、この一年はどんな年だったのでしょうか？

本学科には嬉しいニュースがありました。「臨床栄養学概論」を御担当の坪井厚 特任教授（静岡県栄養士会会長）が、令和2年秋の叙勲において旭日双光章を受章されました。おめでとうございます。

コロナ禍で感染予防を図りながら、様々な実習形態の試みがなされました。その1つが11月26日実施の「調理学実習Ⅳ」です。一昨年3月連携協定が締結した森永乳業株式会社の研究員か



リモート形式で行われたチーズの調理学実習  
＝静岡市駿河区の静岡英和学院大短期大学部



らリモート形式でモッツアレラチーズの製造方法を学びました。研究所と本学科調理学実習室間で、モニター越しの技術指導と学生作業への助

言などが行われ、慣れない手つきで苦戦しながらも、モチッと食感のチーズに仕上がりました。

2つ目は12月12日・13日の両日に開講された静岡大

学農学部との単位互換科目「先端フィールド科学演習」です。初日は温州みかんの収穫、翌日は紅茶の製造を体験しました。紅茶製造では5月に摘採した茶葉を用いて、組織や細胞を破壊し酸化酵素を含んだ茶汁を出し、空気に触れさせ酸化発酵を始める重要な工程「揉捻」を、隣同士の距離を保ちながら行いました。一生懸命作業した紅茶の出来栄が楽しみです。

多くの大学がオンライン授業を主として実施している中で、本学科は予防と安全策と追求しながら、栄養士や食の専門家の育成のため対面でしか得られない学びを提供できるよう、教育の向上を目指していきます。

（食物栄養 望月）



## 研究室探訪



### 鈴木 瑞

(すずき みずき)

所属: コミュニティ福祉学科

職名: 講師

研究テーマ: 「外国人住民との共生社会の構築」「静岡県の多文化共生」「福祉の現場での外国人スタッフとの異文化理解、多文化共生」「留学生支援と教育」

力に見合った教育も研究テーマの一つとして行っています。

### 社会貢献活動

静岡県の令和2年度ゼミ学生等地域貢献推進事業である、地域社会の多文化共生の構築についての研究に取り

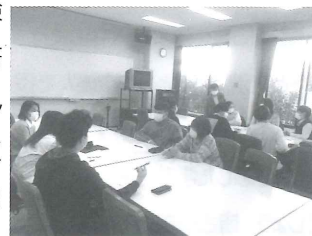
### 私の研究

福祉の現場から留学生の支援まで、長年にわたって様々な異なる文化の人々の支援に携わってきました。近年の日本社会の外国人数の増加によって、多種多様な文化背景を持つ人々が地域住民の一員となり、共に理解し合い、安心して暮らせる地域づくりの構築は喫緊の課題となりつつあります。日本人も外国人も対等の関係を築き、共生できる地域社会の構築や福祉の現場の異文化受容、多文化共生への促進を研究のテーマとしています。また、留学生支援や教育の仕事に長年関わっていて、多くの留学生と触れ合う機会が得られました。留学生の学生生活の実態を把握した上で効果的な支援方法や学

組んでいます。外国人と日本人が共に働く福祉施設や日本語ボランティアの教育の現場などの実態調査を行い、外国人と関わりのある日本人及び外国人の実態を把握し、意見を吸い上げ、問題点を精査します。これらを基に、多文化共生の構築の有効策の考案を行い、地域社会に活かす努力に努めてまいります。

### ゼミ活動

ゼミは福祉に関心がある学生が所属しており、地域福祉に貢献する志を持っています。今年度は静岡県地域課題の「外国人住民との共生社会をどのように構築するか」というテーマをグループ研究の課題として熱心に取り組んでいます。そのため学内の学生を対象にしたアンケート調査や学内、学外へのインタビュー調査を行い、行政の取り組みから民間の外国人支援の現場まで、生の声に耳を傾け、問題点を把握し、より深みのある研究にするため分析を重ねています。さらに、改善策を探りながら地域への提言も行っています。これらの調査は学生にとって良い社会勉強で貴重な経験となっております。当ゼミは研究成果を地域社会に還元していき、多文化共生地域づくりの促進に役に立てることを目標としています。



## 財務課

### ～令和3(2021)年度 学納金の納付書発送及び納入期限について～

	前 期 ※1	後 期 ※1
納付書発送時期	令和3(2021)年4月上旬	令和3(2021)年9月上旬
納入期限 ※2	令和3(2021)年4月26日(月)	令和3(2021)年10月4日(月)

※1 学納金は、前期と後期の2期に分けて納入いただきます。

但し、新入生(1年生・3年次編入生)の前期分は、入学手続き時に納入済みです。

※2 家庭の事情等により、期限内に学納金の納入が困難な場合は、分割・延納が可能(別途手数料あり)ですので、納入期限までに学生課(Tel:054-264-8873)にご相談ください。

### ～ 寄 付 金 の お 願 い ～

将来を担う学生のために皆様からの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校法人HPの「インターネット経由」または、「指定振込用紙」でお申込ください。



## 留学生センター

今年度は新型コロナウイルスのために誰もが予想しなかったような状況となりました。本学の新人外国人留学生も4月2日以降、5月までは学内入構禁止となったため、彼らは初めての大学・短大で、2か月で1日しか通学できませんでした。その間にオンラインで履修手続きをし、教科書の注文、そして、授業をオンラインで受講するまで、授業等のイメージがつかめず、軌道に乗るまでがたいへんではなかったかと思います。一方で、コロナのために飲食店は休業や営業短縮となり、アルバイトを中心に学費と生活費を得ていた私費留学生は収入が減り、経済的な不安も重くなりました。

こうしたなか、国からの特別定額給付金や文部科学省からの学生支援緊急給付金（これは限られた人が対象）もありましたが、本学が独自で行った緊急学生支援金は、多くの本学留学生にとって、とても心強い、物心両面での援助となったのではないかと思います。

後期も終盤となった今は、履修した授業についてしっかり学習

し、単位を修得することが第一です。ただ、せっかく日本に留学しているので、交流を通して異文化に触れたり、日本の自然を味わうような機会が早くやってきてほしいものです。そして、このような閉塞的な状況にもかかわらず、明るくおらかな様子でいる留学生を見ると、これは大いに勇気づけられます。（留学生センター 磯貝）



「日本語弁論大会静岡県大会に3名の本学留学生が参加」

## 公開講座

### 2020年度公開講座を開催しました

本学では毎年、大学・短大の各学科の教員が講師となり、公開講座を開講しています。

2020年度は、葵生涯学習センター（アイセル21）にて10月6日からスタートし、「絵本研究」や「SDGs」、「日本近代文学」、「健康長寿」、「経済学」、「人生の不思議」と、多彩な分野でのテーマで全6回開催され、約140名の方のご参加をいただきました。

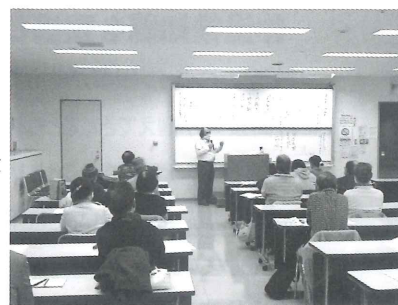
今年度はコロナ禍での開催となりましたが、感染予防対策として3密を避けるため席数を減らし、またマスクの着用や検温・手



指の消毒をお願いするなど、受講者の皆さまにご協力いただき無事に講座を終えることが出来ました。

また、本学連携先の静岡市が主催する市民大学リレー講座

（※）にも毎年講師を派遣しており、今年度はコミュニティ福祉学科の志田倫子先生による



「SDGsって何？」という非常に関心の高いテーマで講演されました。

地域の生涯学習の一助としての公開講座ではありますが、学生の皆さんも普段の授業とは違った、楽しく教養を深める講座を是非受講してみたいかがでしょうか？

（企画部 川口）

（※市民大学リレー講座とは、市内5大学（静岡大学・静岡県立大学・東海大学・常葉大学・本学）が統一のテーマについて、1コマずつリレー形式で行う講座です。）

## キャリア支援課

### 業界勉強会を実施しました



大学3年生・短大1年生を対象とした「業界勉強会」を1月26日（火）に実施しました。例年は対面方式で実施していましたが、今年は初のオンライン方式による開催となりました。この勉強会は卒業生の就職実績がある事業所から、それぞれの業界について説明をいただくイベントです。就職活動が本格的に始まる前の予行演習の意味も兼ねたイベントで、事業所ごとのオンラインブースに学生が入室する形式で行いました。

今回は23事業所に参加いただき、学生はそのうち4つの事業所ブースに参加しました。約半数の事業所からは実際に卒業生も参加し、先輩の経験談なども聞くことができる機会となりました。今まで興味がなかった業界も、実際に事業所の方や卒業生の話を伺うと様々な発見や気づきがあり、視野が広がったという学生も多数いました。

いよいよ就職情報解禁の3月が近づき、合同企業説明会や各事業所での説明会などが始まります。昨年の就職活動からオンラインでの説明会や面接を導入する企業が急増し、今年もその状況が続く見通しです。就活生も対面で企業の方と接するスキルに加え、オンライン上での対人スキルも習得することが必須となりました。参加学生は今回の業界勉強会で、特にオンラインを活用した就活に各自課題を見出していたようです。

キャリア支援課では引き続き、フォロー講座や個別面談・添削指導・面接指導など行って参ります。学内での企業説明会もオンライン方式・対面方式の両面で多数開催していく予定です。今回の業界勉強会や今後の指導などを通じて、学生の皆

さんの可能性が少しでも広がるようサポートして参ります。



（キャリア支援課 小田）

## 後援会

### 体温検知器を整備しました

前期はオンライン授業が中心でしたが、後期からは徐々に対面授業が増えてきたこともあり、教室で授業を受けられることや友人と語り合うこともできて嬉しい反面、新型コロナウイルスが終息しないことに不安を感じる方も少なくないかと思います。

大学後援会では、新型コロナウイルス感染症対策として、9月に新館と本館の入口に体温検知器を新たに設置するとともに、十分な量の自動手指消毒器用アルコール

液を購入しました。建物に入る際に、皆さんが手指消毒と検温をして授業に向かう姿を見て安心しております。また、学生食堂にも12月から自動手指消毒器を追加設置しました。

大学後援会では、学生の皆さんが安心してキャンパスで過ごすことができるように、大学と協力して新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めていきたいと考えております。（総務課 寺尾）



静岡英和学院大学  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201

FAX 054-263-4763



静岡英和学院大学短期大学部  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 [info@shizuoka-eiwa.ac.jp](mailto:info@shizuoka-eiwa.ac.jp)

企画・編集 学報委員会